

# らぶらす

## ライブラリーニュース Vol.8

秋号  
2014.9

### 本気で始める、ワタシの起業

自分のやりたいこと、得意なこと、あったらいいなと思うことを仕事にしたい!そんな願いを実現する一つの方法が起業という働き方です。起業というと難しく考えがちですが、ビジネスの種は日々の暮らしの中にあります。起業すれば、あなたの仕事のオーナーはあなた自身。その分、責任も伴いますが、自分の思うやり方で進めることができます。会社勤めなどとはひと味違うビジネススタイルで、育児や介護などとの両立を可能にした女性もいます。思いをかたちにするために、一歩前に進んでみましょう!



6月開催の起業支援塾&サロン

#### 『女性社長が日本を救う!』

横田響子 著  
マガジンハウス



子ども時代から一生働く決心し、はや10代で「人と人をつなげる仕事をしたい」「活躍している女性の助けをしたい」と思っていた著者。20代で会社退職後、女性社長を応援したい!と始めた女性社長のデータベース「女性社長.net」の立ち上げや、女性社長ら数百名の集まるイベント「J300」開催までの決してあきらめない姿勢からはまっすぐな思いが伝わる。

#### 『小さく始めて1億売った ママ起業 私の方法』

園田正世 著  
祥伝社



ネットショップでのだっこひも販売という「小さな起業」から年商1億、百貨店販売に至るまでの道のりが語られる。3人の子持ち主婦兼社長ならではの「ママ起業」のスキル紹介が満載。「好き」で始める主婦起業の、自らの経験や家庭との両立の秘訣を惜しみなく披露する。ブランドイメージ構築や商品情報の届け方・主力商品の育て方も参考になる。

#### 〈参加者の声〉

- ・自分のやりたいことや思いを整理して、軸となるものを作っていかなくては...と思いました。
- ・みんな悩みながらも頑張っている、というところが、励みになりました。
- ・具体的な先生のコメントと皆さんの熱意に感動しました!

#### 【 起業の本 】



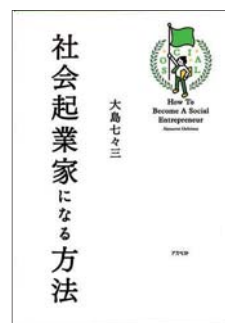
『起業本能—夢を生み出す女性たち』  
田畑則子 写真・文  
サンマーク出版



『女性のための起業家セミナー』  
京都大学女性起業家プロジェクトチーム 編著  
本の泉社



『起業するなら主婦がイチバン!』  
治面地順子 著  
明日香出版社



『社会起業家になる方法』  
大島七々三 著  
アスペクト

らぶらす  
ホームページ



<http://www.laplace-setagaya.net>

#### 利用案内

らぶらす資料コーナーへようこそ!

らぶらす資料コーナーでは、およそ1万9千点の書籍やDVD、行政資料などを所蔵しています。運転免許証や健康保険証など、住所とお名前が確認できる書類をお持ちいただければ、その場で利用者登録が可能です。1回につき3点まで、2週間の貸出が可能です(AV資料1週間まで)。

らぶらす開館時間

9:00-22:00

図書貸出時間

9:00-21:30

休館日毎月第3月曜日  
(祝日の場合はその翌日)  
及び年末年始

# 新着図書



## 『無頼化した女たち』

水無田 気流 著  
亜紀書房

社会に蔓延する不安により女子の保守化が著しい。しかし専業主婦は絶滅危惧種になりつつあり、かといってカツマーになれるのは一部のエリート女子。ふつうに産めない、働けない女子は結果「やさぐれる(=無頼化)」。その原因は女子自身にあるのではなく、社会にあると本書は分析する。

おんなたちのいま



## 『女のからだ—フェミニズム以後』

萩野 美穂 著 岩波新書

70年代に全米で始まった「女の健康運動」と日本でのウーマンリブや生殖技術運動を振り返り、女のからだは女が考えるのが大切と説く。



## 『性と法律 変わったこと、変えたいこと』

角田 由紀子 著 岩波新書

離婚、親権、賃金差別、性暴力などの女性をめぐる問題に、弁護士の著者が法の問題点を指摘し、1ミリずつでも社会を変えようと提言する。



## 『60歳からしておきたいこと』

坂東 眞理子 著  
世界文化社

元気なうちの老前整理のすすめ。健康や長寿の秘訣はこころの柔軟性。そのための生活習慣や古い支度をわかりやすくアドバイスする。支援が必要になったら運命と受け入れて新しいステージを生き抜こうと説き、自身の親族の例からは「リビング・ウィル」作成を強く勧める。現代の「老活」「終活」を問い直す。

年を重ねる



## 『おひとりシニアのよろず人生相談』

樋口 恵子 著 主婦の友社

現在、65歳以上の女性は5人に1人がひとり暮らし。年金・遺言書・介護保険・医療保険・住宅に関する情報も提供し、準備が大切と説く。



## 『年を重ねることはおもしろい。』

吉沢 久子 著 さくら舎

ひとり暮らしは先立った夫からの贈りものと考え、日々大切に過ごす著者。その酸酩味と生活の工夫・ヒント、心の持ちようを語る。



## 『悲しみを生きる力に 被害者遺族からあなたへ』

入江 杏 著  
岩波ジュニア新書

2000年12月に発生した「世田谷一家殺害事件」。未だに解決していないこの痛ましい事件で、著者は大切な妹一家を奪われた。その後も理不尽な悲しみに襲われ深く傷つく。自らの体験を語ることで悲しみと向き合い、それを生きる力に変えていった著者からの希望のメッセージ。

悲しみと向き合う



## 『グリーフケア入門』

高木 慶子 編著

上智大学グリーフケア研究所 制作協力 地域社会から核家族社会への移行に伴い、喪失の悲嘆はより孤独化した。高まるグリーフケアへの要望・関心に応える入門書。



## 『悲しみを抱きしめて グリーフケアおことわり』

吉田 利康 著 日本評論社

「多死時代」到来を前に、「死別の悲しみへの向き合い方」を西欧の「グリーフ」と比較しつつ、「悲嘆」を日本的にとらえる道を探る。

## 絵本

### 『わたしのからだは わたしのもの』

リンダ・ウォルヴード・ジラード 作  
北沢杏子・中西理彦 訳 今井弓子 絵 アー二出版



国によってスキンシップの度合いは違うし、相手の気持ちも大事にしたい。でも、自分が触られていやな時は、「いや」とはっきり伝えることも大切。子どもの権利がわかりやすく描かれているので一緒に考えながら何度も読みたい。

## コミックス

### 『ペコロスの母に会いに行く』

岡野 雄一 作画  
西日本新聞社



介護でも、認知症の話でもなく、母と私の「はなし」だから、「母に会いに行く」。母の現状を受け入れた日常を淡々と描く。ちゃんと生きてきた人の終にむかう日々が穏やかであってほしいと願いたくなる。温かい気持ちが湧きあがってくる本。

## DVD

### 『森の中の淑女たち』

シンシア・スコット 監督  
カナダ 1990年制作



カナダ、ケベック州の美しい森を舞台にした作品。高齢女性7人と女性運転手の乗った1台のバスがエンストを起こす。8人の女性たちは知恵を出し合いサバイブするが、それぞれが自分の人生を振り返る機会にもなる。ゆたかな余韻が広がる映画。

貸出中の場合は予約ができます

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール10階  
TEL 03-5478-8022 FAX 03-5478-8026

らぶらすホームページ <http://www.laplace-setagaya.net>

らぶらす facebook page  
facebook



世田谷区立男女共同参画センター

